

創立70周年だより 第3号



「つづく つながる 夢を育てる学び舎」

令和2（2020）年11月24日
国立市立国立第二小学校
校長 小林 理人
図工専科 久保 昭夫

二松ネコ（6年生児童作品）



6年生 卒業制作

「旧国立駅舎の木でつくる新校舎看板」 スタートしました！

6年生児童による卒業制作実行委員会を中心に6年生58名全員でつくる「旧国立駅舎の木でつくる新校舎校名看板」の制作がスタートしました。

70周年の特別な今年度、未来の新校舎建設につながる卒業制作をめざす一環で、国立市の協力をいただき、旧国立駅舎が再建される際に活用されなかった駅舎創建当初（大正15年）の木材を活用します。活用する木の種類は、奇しくも「二松」と同じ赤松です。いただいた当初、表面は薄汚れ、96年間の歴史を感じさせる古材の雰囲気でしたが、材木屋さんに裁断、カンナがけをしていただくと、驚くほど美しい姿に生まれ変わりました。これまでの二小、そして国立市の歴史を受け継ぎ、未来の二小が地域の人と人を結ぶ拠点になることを願って制作をすすめています。

実行委員会のメンバーは、制作に先立って話し合い、看板の字は校長先生に書いていただくこと、二松と桜のデザインを入れることを決めました。授業でみんなが彫る活動をするまでに、字を写した板に彫りやすいように基準になる線を鑿（のみ）で刻む準備をしました。授業では6年生みんな交代で文字を彫りこんでいます。

二小の看板の完成を楽しみにしててください。